

2021年度(令和3年)収支決算報告(概要)

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位:千円)

(1)2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の第4波の最中に始まり、4月に3回目の「緊急事態宣言」が発令され、7月になると第5波となり、4回目の「緊急事態宣言」が発令されました。そして、2022年1月、新たに感染急拡大がはじまり、「まん延防止等重点措置」が発出され、3月にわたって、延長、再延長となり、第6波となりました。その間、高齢者施設等で感染がクラスターとなって増加しており、鎌倉静養館はエッセンシャルワーカーとしての使命感をもって、施設事業所運営、在宅介護・支援、保育園運営を継続し、感染防止に徹底して取り組んで参りました。しかしながら、第6波の最中に、特別養護老人ホーム(由比が浜)、また軽費老人ホーム(稲村が崎)において、(両ホームの関連がなく)入所者及び職員に感染が広がり、クラスター発生となってしまいました。いずれも軽症でしたが、入所者及び職員を守る事ができませんでしたことに慙愧に耐えません。

(2)このようなコロナ禍下でしたので、2021年度の法人全体(特別養護老人ホームを中心とした介護保険事業・軽費老人ホーム・保育園)の活動収支決算(前年度)は、▲27.5百万円(+2.0百万円)の大幅な赤字の収支決算となりました。内訳は、特養他介護保険事業グループ全体は▲24.9百万円(+3.6百万円)、軽費老人ホームは▲12.9百万円(▲6.1百万円)、保育園は+9.7百万円(+4.6百万円)、法人本部は▲0.4百万円(▲0.1百万円)となりました。特に、特別養護老人ホーム(長期入所・短期入所)及び軽費老人ホームの入所施設が、コロナ感染防止の徹底のため、退所者があっても、新入所者には慎重に対応を行ったことにより、在籍者数が大幅に落ち込み、収支の大幅なマイナスの上乗せとなりました。

(3)2030年問題を見据え、人材を確保し、次世代を育成し、寄り添いのケア・保育の実践を、各施設事業所が互いに補完し合い、総合力の経営に変えていく方針を明確にしました。その一環の施策として、年央の9月より次のとおり実施しました。①職員の定年を60歳から65歳に延長しました。再雇用年齢も5歳延長しました。鎌倉静養館において、長年、培ってきた介護スキル、培ってきた自己実現の思いを、そして家族への安定した生活の思いを、この延長を活用していただくことにしました。②介護保険事業の総合力を形成し、業務改善を推進(ICTの活用)し、事業を統括する総合施設長を設置しました。

(4)2022年度に入っても、コロナ禍にあり、感染リスクを負いながらという事業運営に困難がありますが、エッセンシャルワーカーとしての使命感をもち、全力をもって、事業活動収支を回復していきたいと思っております。そして、経営理念のもとに、お一人おひとりを大切に、おめでとうと祝福されて始まり、ありがとと感謝する、健やかな人生の営みを支え、事業継続を確かなものにして、地域にあって、多様に積極的に展開して、社会貢献を前進していきたいと思っております。

社会福祉法人 鎌倉静養館 理事長

資産の部		負債の部	
流動資産	328,805	流動負債	227,734
現金預金	47,365	事業未払金	31,254
事業未収金	86,285	1年以内返済予定リース債務	1,828
未収金	158	職員預り金	881
未収補助金	264	拠点区分間借入金	193,088
立替金	1,754	未払費用	430
前払費用	341	預り金	253
拠点区分間貸付金	193,088		
徴収不能引当金	▲450		
固定資産	482,995	固定負債	42,248
基本財産	141,185	リース債務	1,015
建物	141,185	拠点区分間長期借入金	3,000
その他の固定資産	341,810	退職給付引当金	38,233
建物	64,016	負債の部合計	269,982
構築物	17,658		
機械及び装置	0	純資産の部	
車輦運搬具	960	基本金	16,901
器具及び備品	14,636	国庫補助金等特別積立金	121,337
権利	32,499	その他の積立金	168,446
無形リース資産	2,030	社会福祉事業積立金	110,000
拠点区分間長期貸付金	3,000	軽費事業運営積立金	43,850
退職給付引当資産	38,233	岡記念基金積立金	4,596
長期前払費用	332	浅見記念基金積立金	10,000
社会福祉事業積立資産	110,000	次期繰越活動増減差額	235,134
軽費事業運営積立資産	43,850	(うち当期活動増減差額)	▲27,561
岡記念基金積立資産	4,596	純資産の部合計	541,818
浅見記念基金積立資産	10,000		
資産の部合計	811,800	負債及び純資産の部合計	811,800

資金収支計算書

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目	決算額
事業活動による収支	
介護保険事業収入	510,628
老人福祉事業収入(軽費)	116,921
保育事業収入	104,986
その他の事業収入	77
経常経費寄附金収入	1,272
受取利息配当金収入	8
その他の収入	4,669
事業活動収入計(1)	738,561
人件費支出	527,480
事業費支出	112,805
事務費支出	104,487
その他の支出	2,875
事業活動支出計(2)	747,647
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	▲ 9,086
施設整備等補助金収入	0
施設整備等収入計(4)	0
固定資産取得支出	5,968
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,828
施設整備等支出計(5)	7,796
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	▲ 7,796
積立資産取崩収入	16,969
拠点区分間長期借入金収入	3,000
拠点区分間繰入金収入	2,000
その他の活動による収入	206
その他の活動収入計(7)	22,175
積立金支出	14,434
拠点区分間繰入金支出	2,000
その他の活動による支出	0
その他の活動支出計(8)	16,434
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	5,741
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	▲ 11,141
前期末支払資金残高(12)	117,489
当期末支払資金残高(11)+(12)	106,348

事業活動計算書

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目	決算額
サービス活動増減の部	
介護保険事業収益	510,628
老人福祉事業収益(軽費)	116,921
保育事業収益	104,986
その他の事業収益	147
経常経費寄附金収益	1,272
その他の収益	0
サービス活動収益計(1)	733,954
人件費	530,459
事業費	112,840
事務費	104,487
減価償却費	27,430
国庫補助金等特別積立金取崩	▲ 11,954
サービス活動費用計(2)	763,262
サービス活動増減額 (3)=(1)-(2)	▲ 29,308
サービス活動増減の部	
受取利息配当金収益	8
その他のサービス活動外収益	4,598
サービス活動外収益計(4)	4,606
その他のサービス活動外費用	2,875
サービス活動外費用計(5)	2,875
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	1,731
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	▲ 27,577
特別増減の部	
施設整備等補助金収益	0
拠点区分間繰入金収益	2,000
その他の特別収益	16
特別収益計(8)	2,016
固定資産売却損・処分損	0
拠点区分間繰入金費用	2,000
国庫補助金等特別積立金積立額	0
特別費用計(9)	2,000
特別増減差額(10)=(8)-(9)	16
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	▲ 27,561
繰越活動増減の部	
前期繰越活動増減差額(12)	257,145
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	229,584
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	10,550
その他の積立金積立額(16)	5,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	235,134